

障害を理由とする差別の解消を推進するための 条例施行後の取組みについて

1 相談体制の整備等

(1) 相談体制の拡充

①各区障害高齢課に差別に関する相談を含む総合相談に対応する相談員を配置（各 1 名、4/1～）

②仙台市障害者虐待防止・差別解消相談ダイヤル（24 時間 365 日受付）での受付開始（4/1～）

③相談件数（平成 28 年 9 月末現在） （単位：件）

	福祉サービス	医療	商品・サービスの提供	教育	雇用	建物・公共交通機関	不動産の取引	情報提供・意思表示	その他	合計
相談ダイヤル	2 件	1 件	1 件	0 件	4 件	0 件	0 件	0 件	0 件	8 件
市障害福祉部署	3 件	2 件	7 件	0 件	10 件	8 件	6 件	7 件	8 件	51 件
相談支援事業所	2 件	1 件	1 件	0 件	2 件	1 件	1 件	1 件	0 件	9 件
合計	7 件	4 件	9 件	0 件	16 件	9 件	7 件	8 件	8 件	68 件

※相談者が直接の対応を望まない相談、差別にはあたらないと思われる事案等も含む。

④相談内容等

生活分野	相談内容等
福祉サービス	・重複障害のある利用者の障害福祉サービスの利用に関する相談。
医療	・精神障害の方の市民検診受診にあたって、一般の病院で理解してもらいにくい。理解のある病院を紹介してもらいたい。
商品・サービス提供	・盲導犬の受け入れを拒否について（飲食店、宿泊施設） ・車椅子利用者の入店拒否について（飲食店） ・内部障害で障害者用駐車場を予約していたのに、駐車場管理人に怒られた。
教育	（障害担当部署への相談はなし）
雇用	・職場で同僚からの受け入れが良くない状況があり、上司にどう相談するか等を具体的に相談できるところを紹介して欲しい。 ・障害に理解のある就労先が見つからない。
建物・公共交通機関	・補助犬を連れてのタクシー乗車を拒否された。 ・バスやタクシー乗務員から言われた言葉に傷ついた。
不動産の取引	・入居中のアパートの近隣や管理会社とのトラブルに関すること。 ・アパートを探しに行ったが、紹介してもらえなかった。
情報提供・意思表示	・市管理施設のホームページに障害者手帳の減免について掲載していないのは、障害者への配慮に欠ける。 ・地域に新設される施設の説明会に手話通訳を求めたが、難しいと対応してもらえなかった。 ・区役所職員が訪問時、手話通訳を連れてこず、ずっと筆談で対応された。

(2) 仙台市障害者差別相談調整委員会の設置

障害を理由とする差別に関する紛争の解決を図るため、条例第 20 条に基づき設置。

現在のところ調整委員会への申立事案はない。

①日程・内容

回	開催日	主な議題等
1	4月14日(木)	・委員長及び副委員長の選出 ・仙台市障害者差別相談調整委員会について

②委員名簿(敬称略)

委員名	所属・職名	分野等
◎大坂 純	仙台白百合女子大学教授	学識経験者
○佐藤 由紀子	仙台弁護士会	学識経験者
石野 勝美	宮城教育大学キャリアサポートセンター特任教授	教育
大瀧 正子	一般社団法人仙台市医師会理事	医療
小澤 好子	一般社団法人宮城県社会福祉士会	福祉
松前 ゆかり	宮城県社会保険労務士会理事	雇用
松本 隆一	宮城県聴覚障害者情報センター施設長	障害当事者

◎委員長, ○副委員長

(3) 仙台市障害者差別解消・虐待防止連絡協議会の設置

障害者の差別解消・虐待防止に関する相談対応等をはじめ、障害者の権利擁護に携わる関係機関のネットワークを構築し、相互に連携して障害者の支援を適切に進めるための体制づくりを図る。

①日程・内容

回	開催日	主な議題等
1	12月20日(火)	・仙台市における各種取り組み等の状況 ・各機関における取り組み等の紹介

分野	構成機関
権利擁護	仙台法務局(人権擁護部)、宮城県障害者権利擁護センター、人権擁護委員協議会
労働関係	宮城労働局(職業対策課、ハローワーク仙台)
当事者	仙台市障害者福祉協会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、宮城県患者・家族団体連絡協議会
地域福祉	仙台市社会福祉協議会(まもりーぶ仙台)、民生委員児童委員協議会
教育関係	教育委員会(特別支援教育課)
障害福祉	各区保健福祉センター、各総合支所保健福祉課、障害者総合支援センター、精神保健福祉総合センター、北部発達相談支援センター、南部発達相談支援センター、委託相談支援事業所

②構成機関

2. 普及啓発・理解促進等に関する主な取組み

(1) 仙台国際ハーフマラソン「ココロン・ブース」の設置

日時・場所	内 容	来場者
5月8日(日) 宮城野原総合運動公園内	○障害者スポーツ・団体や各障害特性に関するパネルの展示 ○条例周知用チラシや事例集等の配布	119名

(2) シンポジウム「ココロン・スポーツ☆スペシャル」の開催

日時	内 容 等	参加者
5月29日(日) せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア	シンポジウム「障害とともに生き生きと生きる」 ① 基調講演 【講師】 仙台白百合女子大学教授 大坂 純 氏 ② パネルディスカッション 【コーディネーター】 大坂 純 氏 【パネリスト】 ウィルチェアーラグビー日本代表 庄子 健 選手 障害者陸上女子砲丸投げ世界記録保持者 加藤由希子 選手 知的障害者競泳エクアドル2015INAS グローバルゲームス銀メダリスト 山中 優輝 選手	60名

(3) ワークショップ「ココロン・カフェ」の開催

日時	内 容 等	参加者
6月25日(土)	【テーマ】 「障害理解を広げるための取り組みについて考えよう」	42名
7月7日(木)	【会 場】 (6/25) 仙台市役所本庁舎 8階ホール (7/7) 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール	58名
11月17日(木)	【テーマ】 「東京パラリンピックを盛り上げよう！」	25名
11月20日(日)	【会 場】 (11/17) 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール (11/20) 仙台市役所本庁舎 8階ホール	39名
3月2日(木)	【テーマ】 「災害への備えを考えよう」	42名
3月5日(日)	【会 場】 (3/2) 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール (3/5) 仙台市役所本庁舎 8階ホール	31名

(4) 福祉まつり「ウエルフェア2016」

日時・場所	内 容	来場者
10月2日(日) 勾当台広場	啓発ブースの設置 (障害理解の啓発、パンフレット・事例集等配布、ココロンバッジ作成)	150名
12月4日(日) 福祉プラザ2階 ふれあいホール	講演会「誰もが共に暮らしやすい地域づくりのために ～相談活動の実践から考える障害者差別解消とは～」 【講師】 朽名社会福祉士事務所代表 朽名 高子 氏	50名

(5) 市民協働事業提案制度の活用

市民局で実施している「市民協働事業提案制度（テーマ設定型）」に「障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR」のテーマを設定。公募により「表現活動を通じた交流や対話などにより障害理解の促進を図るプロジェクト『TOGETHER ACTION PROJECT (TAP)』」を採択し実施することとした。

日時・場所	内容	来場者
12月16日(金) 市民活動サポートセンター	○オープンアトリエ第1回 「Dance Breaks Barriers!」 ～障害のある人もない人もダンスでコミュニケーション～	130名
12月17日(土) 市民活動サポートセンター	○トークセッション 障害のある人の表現活動の先駆的な取り組みの紹介や、地域の多様性や受容性の広まりへの期待をテーマに話し合う。 ○表現ワークショップ 身体表現、リズム表現、ボイス表現の体験	140名
1月～3月 市民活動サポートセンター	○オープンアトリエ ①打楽器 1月20日(金)、2月17日(金) ②アート 1月27日(金)、3月7日(火) ③ダンス 2月10日(金)	
2月4日(土)・25日(土) 市民活動サポートセンター	○表現ワークショップ ①身体表現 ②リズム表現 ③ボイス表現	
3月19日(日) せんだいメディアテーク	○TOGETHER ACTION DAY ワークショップの成果発表、記録映像の上映	

(6) 若者による地域課題解決プログラム「仙台ミラソン2016」へのテーマ提供

市民局が、若者の社会参加促進と将来のまちづくり人材育成を目的に実施している、若者による地域課題解決プログラム「仙台ミラソン2016」における解決すべき地域課題として障害理解の促進に関するテーマを提供。

障害当事者との食事会、障害者スポーツの体験などを実施し、障害者との交流活動に取り組んでいる。

日時	仙台ミラソン2016スケジュール
8月22日(月) ～24日(水)	地域課題解決ワークショップ テーマに基づくアイデアソン、フィールドワーク等
9月～12月	チームごとの活動
2月15日(水)	最終発表会

(7) 障害者差別解消等に関する研修会の開催

日時	研修内容	参加者
8月24日(水) 仙台市役所本庁舎 8階ホール	雇用現場における障害者の権利擁護等に関する研修 【対象】市内障害福祉サービス事業所運営事業者管理・監督者等 【講師】宮城労働局職業対策課地方職業安定監察官 千葉 敏磨 氏 【テーマ】「障害者雇用の現状と権利擁護について」 ～雇用の現場における障害者に対する差別や虐待について～	44名
11月25日(金) 障害者総合支援 センター 2階研修室1	障害者差別解消相談支援者向け研修 【対象】障害者相談支援に従事する職員 「仙台市における障害者差別解消に関する取り組みについて」 【講師】障害企画課職員 「相談事例を通して考える障害差別に関する相談活動について」 【講師】朽名社会福祉士事務所代表 朽名 高子 氏	30名

(8) 障害者差別解消に関する研修講師等派遣

各種団体等における障害者差別解消に関する研修会に講師として職員を派遣している。
(16回派遣、延 688名受講)

(9) 障害理解促進に関する広報

障害のある人の困っていることや必要な配慮等をわかりやすくお伝えし、市民や事業者の障害や障害者に対する理解を促進する。

○パンフレット「考えてみよう！誰もが暮らしやすいまち」の作成・配布

- ① 発行 平成 28 年 9 月末
- ② 作成部数 50,000 部
- ③ 配布先 町内会（市政だより 10 月号の配布に合わせて回覧を依頼）、
民生委員児童委員、市民センター等の市民利用施設、
障害福祉関係団体、事業者団体等

○交通広告の掲出

- ① 掲出期間 平成 29 年 3 月
- ② 掲出先 地下鉄南北線・東西線、市営バス

(10) 障害理解サポーター事業

市民の障害理解を促進するための啓発プログラムを実施し、地域の理解者（サポーター）を増やす。

28 年度は、先進地視察、障害者関係団体等のヒアリングを実施したほか、事業のあり方や当事者ファシリテーター育成に向けた検討のため障害理解のためのプログラム体験会を実施し、受講者から感想や本市の障害理解促進の取り組みに関する意見を聴取する。

日時	内容等	参加者
2月2日(木) 福祉プラザ 10階第2研修室	「障害平等研修」体験会 【講師】 障害平等研修フォーラム 【対象】 障害者相談員、聴覚障害者福祉相談員、 障害者施策推進協議会元臨時委員、各区差別担当相談員、 委託相談支援事業所、市社会福祉協議会 等	29名

3. 庁内体制の整備等

(1) 障害を理由とする差別の解消に関する庁内研修会

日程	研修内容	参加者
4月5日(火) ～8日(金)	新規採用職員研修「障害を理解するために」 対象：H28年度新規採用職員	178名
4月26日(火)	保健福祉行政職員研修 対象：新年度に初めて保健福祉行政に携わった職員	98名
5月24日(火)	精神保健福祉基礎講座 対象：市内の精神保健福祉関係機関に勤務する初任者	72名
5月27日(金)	障害保健福祉新任職員研修 対象：市内の障害保健福祉関係機関に勤務する初任者	56名
10月19日(水)	障害保健福祉専門職員研修 対象：4公所の理学療法士、作業療法士等	15名
2月3日(金)	「障害平等研修」体験会 対象：各局区課長級職員（各1名程度）	32名

(2) 市が実施する事業に対する手話通訳等の情報保障の実施

平成 28 年 4 月 1 日より施行した仙台市職員対応要領に基づき、仙台市が市民向けに実施する事業等において、手話通訳や要約筆記等による情報保障等の配慮の実施の推進。

17 回実施（手話通訳 延 33 名、要約筆記 延 12 名）（平成 29 年 2 月現在）

(3) 庁内向け広報誌の発行

仙台市職員対応要領に基づいて事務事業にあたり、障害者に対する合理的配慮の提供等に関する具体的な事例紹介を通じて、職員の理解促進を図るための庁内向け広報誌を発行。